

ワークショップ「実践を通じた文理融合授業」 ～ コンビ芸のみがき方（仮） ～

Q：講演会や出前講義を頼まれると困りませんか？

A：困ることは多々あり。

- ・研究内容が伝わらない、ウケナイ！
- ・スライドなどの準備が大変！
- ・頼まれた講演内容を一人ではカバーできない！



提案（仮説）

“2名・3名・4名…の研究者と一緒に講演できれば
上の悩みが解決するかも??”



ピン芸ではなく
「コンビ芸」



そんなことは可能なのか？意味はあるのか？

私達は「文理融合授業」の実践を通じて、複数教員での出前講義の可能性を探ってきました※。その中で、複数のスピーカーで一つのテーマについて話題提供を行なう「方法」を編み出そうとしています。もう糸口はつかめました。でもまだまだ未完成。

今回のワークショップでは、この「方法」を皆さんにも試していただきたいのです。そう、その研究者のあなた（大学教員・大学院生など）、一緒に「コンビ芸」の可能性を考えませんか？ 文系・理系が入り混じった議論の場や一般講演会などを、より盛り上げたいと思っている研究者の方のご参加をお待ちいたしております！！

※ これまでの活動：宮城県立古川黎明高校、花園高等学校、宮城県水産高等学校にて複数教員による授業を実施、また京都大学COC事業にて複数教員による講義を実施

日時：2015年3月14日（土） 13:00～16:00（予定）

場所：京都大学北部総合教育研究棟 201号室

（吉田北部キャンパス：右記地図の13番） http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_n.html

内容：1) 複数教員による出前授業の概要のご紹介

2) 実際に複数の研究者でペアになり、融合授業のレジメを作成

主催：チームGANTT＝常見俊直（京都大・理） 後藤忠徳（京都大・工）

安藤哲郎（滋賀大・教育） 内藤啓貴（京都大・農） ※以上4名が3/14に登壇予定

榊良輔（宮城水産高） 山口智輝（古川黎明高） 加納圭（滋賀大・教育）

お申し込み等→ goto.tadanori.8a@kyoto-u.ac.jp（後藤宛）

【京都大学分野横断プラットフォーム構築企画 支援ワークショップ】